

農産物直売所アンテナショップ跡地の活用に関わるサウンディング型市場調査
現地説明会における質疑回答の結果について（概要）

1. 現地説明会の概要

サウンディング型市場調査における対話に先立って、参加申し込みのあった事業者に対し、個別に調査の内容や現地の状況などについての説明を実施しました。

- ◆日 時：平成 30 年 5 月 8 日（火）及び 9 日（水） 9:00～17:00
- ◆場 所：農産物直売所アンテナショップ跡地
- ◆説明者：我孫子市環境経済部商業観光課・農政課

2. 現地説明会の参加事業者

- ◆10 事業者

3. 主な質疑内容

主な質疑は次のとおりです。ただし、サウンディング型市場調査実施要領や手賀沼観光施設誘導方針など公表している情報や、個別の事業に関わるものは掲載していません。

質疑	回答
<p><跡地・建物について></p> <p>① 既存建物の高さや構造は</p> <p>② 土壌汚染調査を実施する予定は</p> <p>③ 地盤データの有無</p>	<p>① 既存建物の高さは4mとなっており、主たる建築物の構造は鉄骨造となっています。</p> <p>② 今のところはありません。これまでの確認している限りでは、土壌汚染の疑われる土地利用履歴はありません。</p> <p>③ 当該土地のデータはございません。 ※現地説明会後に確認したところ、隣接する白山三丁目にて昭和 58 年に実施した公共下水道管敷設に伴う土質調査結果の報告書がございましたので必要に応じて閲覧は可能です。 また、千葉県ホームページの「千葉県地質環境インフォメーションバンク」で地盤沈下、地下水汚染及び地層の液状化問題等の調査研究への活用及び公共事業への地質柱状図等の提供を行っており、当該土地前面道路のデータもございましたので必要に応じてご覧ください。</p>

<p>④ 汚水負担金や給水負担金などの有無</p> <p>⑤ 境界確定及び測量図の有無。</p> <p>⑥ 建物の解体は誰が行うこととなるか</p> <p><周辺資源について></p> <p>⑦ 手賀沼の水質状況、親水アクションの可能性</p> <p>⑧ 周辺民地の土地利用意向</p> <p>⑨ 観光農地の来場者、来場者居住地、月別来場者数、観光農園作物種毎売上高と推移</p> <p>⑩ 周辺施設の連携と相乗効果</p> <p><活用について></p> <p>⑪ 全ての面積を使わなければならないのか</p> <p>⑫ 太陽光設備など対話の項目⑤に記載されている内容は、市としては設置してほしいということか</p>	<p>④ 整備する施設内容によって異なるので、開発事前協議の中で担当課への確認をお願いします。</p> <p>⑤ 境界確定済となっています。測量図もございます。</p> <p>⑥ 現時点では解体するかどうかは未定です。このサウンディング型市場調査の対話において建物活用の可能性も把握し、公募条件の整理の中で決定していきます。</p> <p>⑦ 最も汚濁していた昭和 40 年代後半から平成 10 年代前半までに比べると水質は向上しており、近年はトライアスロンの大会なども開催されています。ほかに、カヌー、ボート、ヨットなどが一年を通じて楽しまれています。</p> <p>⑧ 把握していません。</p> <p>⑨ 我孫子新田地区や周辺エリアでは観光農園もありますが、観光農園を生業としている状況ではありません。個々の数値については把握していません。</p> <p>⑩ 白樺文学館と杉村素人館記念館、鳥の博物館の入館料が割引になる三館共通券の発行や、イベント時などは手賀沼公園と親水広場などを結ぶ水上バスの運行などが行われています。</p> <p>⑪ 今回のサウンディング型市場調査の対話においては、面積を限定するものではありません。</p> <p>⑫ そうではありません。公募条件の設定の参考として、お伺いするものです。</p>
---	---

<p>⑬ 公民連携事業（PPP,PFI）など市との協働の可能性</p> <p><その他></p> <p>⑭ 以前の農産物直売所アンテナショップの売上高はどのくらいか</p>	<p>⑬ 現時点では想定していませんが、対話での提案を妨げるものではありません。</p> <p>⑭ 平成27年に約1億2千5百万円の売上高となっています。</p>
--	---

4. 今後の予定

平成30年6月25日（月）～29日（金）	市場調査 対話の実施
8月下旬以降	市場調査 結果の公表
秋以降	跡地活用事業者の公募
冬ごろ	跡地活用事業者の選定
平成31年春以降	跡地活用事業者による整備・活用